

【13】-2. 発注入力

発注入力では仕入先への発注を入力し、発注伝票を作成します。

※新規登録・修正・削除、キー操作方法などは「伝票入力画面 共通基本操作」を参照してください。

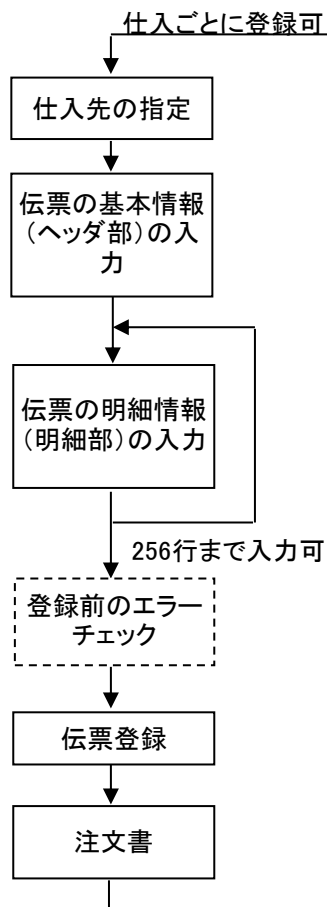
1) 発注入力概要

Point

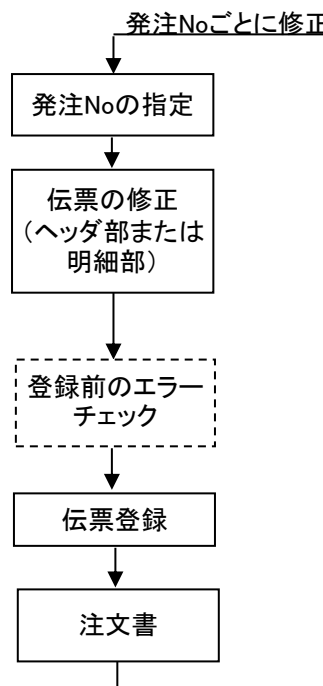
- ・発注入力することにより、以下の業務が可能となります。
 - ① 発注から仕入へリレー入力することにより、分納も含め、発注残管理が行えるようになります。
 - ② 発注内容から注文書を発行することができます。
- ・仕入管理機能はレンタル・リースには対応していません。
レンタル系の種別を選択したとしても、販売品とおなじように在庫や金額の計上が行われます。
仕入側の返却機能也没有ありません。
- ・発注入力では単品管理する商品の指定はできません。

・発注入力の操作の流れ

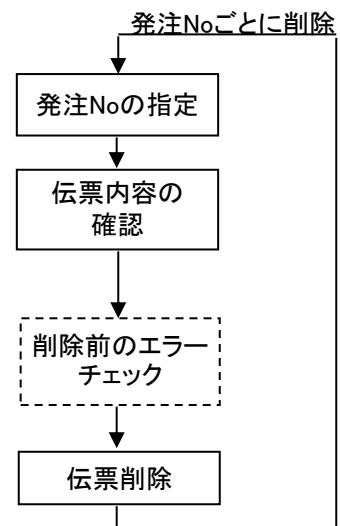
i) 新規登録



ii) 伝票修正



iii) 伝票削除



※即時印刷は伝票機能にて設定Onの場合のみ有効

※明細行で受注noを指定して発注明細を入力することができます。

2) 基本情報(ヘッダ部) 項目の説明

入力画面の上部にある基本情報をヘッダ部と呼びます。
ヘッダ部には、1伝票共通で設定できる項目が表示され、入力することができます。

※以下、下線(緑字)の項目は伝票機能にて、使用する、しないを選択できるものです。
詳細は「伝票機能設定」のマニュアル参照してください。

項目名称	説明
発注No	<p>ほぼ全ての帳票類、伝票類に印字される伝票Noです。 採番管理登録の設定によっては重複することもあります。</p>
仕入先	<p>発注する仕入先コードを指定します。マスタ検索からの選択も可能です。 (SPACEまたはF4キーで検索画面表示)</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕入先名は、仕入先マスタの登録内容が初期表示されます。表示後に訂正可能です。注文書には伝票の仕入先名が印字されます。 発注伝票を仕入リレーした場合、変更した仕入先名が仕入伝票に引き継がれます。 F3キーまたは、ダブルクリックでその仕入先の登録画面が表示されます。 ※表示された仕入先登録画面で内容を変更しても、入力中の伝票に自動的に反映されません。反映したい場合は再度仕入先を指定しなおして下さい。 伝票登録後に仕入先を変更することはできません。 変更する場合は「複写」ボタンで別の仕入先を指定して伝票複写にて新規作成後、元の伝票を削除してください。 仕入先の使用区分を「仕入停止」「使用しない」に設定されている仕入先は指定できません。
仕入先名	<p>仕入先を指定すると、仕入先名1、仕入先名2が初期表示されます。 仕入先名は手入力にて入力することもできます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕入先名は注文書に出力されます。 伝票登録後に仕入先名を変更することもできます。
税処理区分	<p>伝票の税処理区分(支払時外税/伝票毎外税など)が表示されます。 伝票の新規入力時は仕入先の税処理区分を表示します。修正、削除時は以前に伝票が登録された時の税処理区分の値を表示します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 税処理区分は伝票の新規入力時のみ仕入先マスタの値とは別の値を指定できます。 仕入先指定後にEnterキーを押さずにマウスで税処理区分をクリックすることで仕入先の税処理区分とは違う税処理区分で伝票を作成できます。 (仕入先指定後にEnterキーを押して入力モードに入り基本情報が表示されている状態になった場合は、「取消」ボタンを押下して仕入先指定状態に戻ること で税処理区分を指定できます。)

項目名称	説明
状況	<p>見積/発注/失注 から選択します。</p> <p>Point</p> <p>見積・・・発注前段階のもの。見積依頼書が発行できます。 発注・・・発注確定したもの。仕入伝票にリレーできます。 失注・・・伝票登録したが発注しなかったものなど。</p>
発注日	<p>発注日(伝票日付)を入力します。</p> <p>Point</p> <p>・発注日には、運用設定で指定した入力期間制限を越える日付は指定できません。 伝票登録時にエラーチェックされます。</p>
納入期日	<p>発注品の納期を入力します。</p> <p>Point</p> <p>・伝票機能設定にて明細納期を使用する設定の場合、指定したヘッダ納期は明細行にコピーされます。コピー後、明細行ごとに変更も可能です。 実際の各商品納期は明細行ごとに判定されます。 ・状況が「発注」の場合、必須入力です。 状況を「発注」に変更した時に納期が空白だった場合、システム日付が初期設定されます。</p>
担当者	<p>営業担当者を指定します。 コードを直接手入力するか、SapceまたはF4キーにてマスター一覧より選択できます。 初期表示される担当者は運用設定の登録内容により異なります。 当伝票がどの事業所の見積、発注であるかは、担当者が所属する事業所で決定します。 事業所名は担当者横に表示されています。 事業所は伝票ごとに保持されていますので、登録後に担当者の所属する事業所が変更となってもデータにセットされた事業所は変更となりません。</p>
ご担当者名	<p>仕入先のご担当者名を入力します。 注文書に印字されます。</p>
納入先 コード 納入先名～ TEL	<p>納入先を指定する。 コード欄ではSpaceまたはF4キーにて納入先マスタ検索して選択可能です。 納入先名や住所などのその他項目は表示後に訂正可能です。</p> <p>Point</p> <p>・納入先名や住所はマスタから選択せず直接入力することもできます。 ・マスタより選択後に納入先名や住所などを変更した場合、その内容は当伝票にのみ有効となります。マスタの内容は変更されません。 ・表示されている納入先コードを手入力で削除し、次項目へ進んだ場合、納入先情報を削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」をクリックすると納入先名からTELまでがクリアされます。</p>

項目名称	説明
摘要コード 摘要名	<p>摘要を指定します。 コード欄ではSpaceまたはF4キーにて摘要マスタから選択することができます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・摘要コードを入力せずに摘要名に直接入力することもできます。 ・マスタより選択後に摘要名を変更した場合、その内容は当伝票にのみ有効となります。 マスタの内容は変更されません。
メモ入力 (ボタン)	<p>伝票ごとのメモを入力することができます。 ボタン押下にてメモ入力画面が開きます。</p>
現掛区分	<p>入力中の伝票の現掛区分(現金仕/掛仕)を指定します。 新規入力時は仕入先の現掛区分が初期表示されます。 現掛区分を変更すると明細部の伝区も現掛区分に合わせて変更されます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税処理区分が「支払時外税」の伝票の場合、現金は選択できません。 (現金支の場合、その場で精算するので支払時外税というものはないため)

3) 明細情報(明細部) 項目の説明

入力画面の下部にある明細情報欄の商品が指定できる箇所を明細部と呼びます。
明細部には1伝票256行まで入力することができます。
各行を入力すると、画面下部の計行に各項目の総計が自動計算され表示されます。

明細情報	行No	削除	受注No	伝区	商品コード	管理番号	倉庫コード	倉庫名	発注数量	単位	発注単価	発注金額	種別	備考	マーク	税区分
	1	<input type="checkbox"/>	56	掛発注	K000094		0001	本社倉庫	1.0		1,500.0	1,500	日極			課仕
		<input type="checkbox"/>	1	未納	アスファルトカッター (大)											
	*	<input type="checkbox"/>		掛発注					0.0		0.0	0				
		<input type="checkbox"/>		未納												
	金額計															
	合計金額															
	1,500															

項目名称	説明
行No	先頭から自動で行Noが付番されます。 256行まで入力可能です。 「*」マークの行は、まだ何も入力されていない行です。
削除 (ボタン)	入力した行を削除する場合、この削除欄にマウスでチェックを入れます。 (チェックを入れると行全体がグレー背景になります) その状態で伝票登録するとチェックを入れた行が削除されます。
受注No 受注行No	登録済みの受注伝票の明細を指定すると、その明細行の商品コードなどが受注伝票からコピーされます。 Point <ul style="list-style-type: none"> ・状況が「受注」の伝票のみ指定できます。「見積」の見積受注伝票は指定できません。 ・SpaceまたはF4キーにて表示される受注明細検索画面から選択します。 受注明細検索画面は発注伝票の仕入先コードで絞り込んで初期表示されますが、受注Noを入力後、Spaceキー(F4キー)にて受注明細検索画面を表示すると受注Noでも絞り込んで検索されます。どちらも検索画面で指定の変更は可能です。 ・受注明細を選択した場合、商品コード、品名、品名2、倉庫コード、数量、単位、発注単価(受注原単価)、種別、備考 がコピーされます。 初期表示後、各項目は変更可能です。
伝区 (伝票区分)	以下の伝区より選択します。 伝区は現掛区分の設定によって現金/掛に変わります。 以下では掛仕入の場合で説明します。現金の場合は読み替えてください。 (掛発注→現発注、前発注など) <ul style="list-style-type: none"> ・掛発注 … 通常発注する商品を指定する場合に選択します。 ・品値引 … 商品ごとの値引きを入力する場合に選択します。納期は入力できません。 単価を入力すると自動でマイナス表示になります。 在庫の増減には関係ありませんが在庫管理が必要な商品や 倉庫別移動平均原価を採用している場合は倉庫の指定が必要です。 明細合計に対しての値引きを入力する場合は値引用商品を 予め登録しておき、それを使用します。 ・掛経費 … 諸経費を入力する場合に選択します。納期、倉庫は入力できません。 諸経費を入力する場合、「送料」などの商品を商品マスタに登録しておき 商品に「送料」を指定します。 ・摘要 … 摘要行を入力する場合に選択します。 品名、品名2と備考のみ入力できます。 入力した品名などは注文書に印字されます。

項目名称	説明
入荷	<p>発注明細の入荷状況を表示しています。 発注Noを指定しての仕入(リレー仕入)を行うと出荷状況が変わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「未納」・・・まだ1つも仕入されていません。新入力時は全て「未納」です。 ・「一部」・・・仕入されていますが完納にはなっていません。 ※仕入時に数量「0」で入力されている場合も「一部」と表示されるの注意。 ・「完納」・・・すべて仕入されて完了している状態です。 <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未納と一部は発注残の扱いとなります。 ・仕入伝票で発注残数より少ない数を入力した場合、自動的に未納になります。 ただし仕入明細の「入荷」をクリックして手動で修正することにより発注残<仕入数の場合でも「一部」の状態にすることができます。 反対に発注残>仕入数の場合でも「完納」にすることができます。 ・出荷状況の印字箇所はありませんが、発注明細表で発注残数を出力することができます。 ・摘要行は仕入にリレーされますが、発注残の管理や入荷状況の管理は行いません。
商品コード	<p>発注する商品コードを入力します。伝区が「摘要」以外は入力必須です。 コードを直接手入力するか、SpaceまたはF4キーにてマスター一覧より選択することもできます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品コードを入力すると、商品マスタに設定されている「品名」「単位」が初期設定されます。「明細納期」はヘッダに指定されている納期が初期表示されます。 ・運用設定の登録内容によってはSpaceキーで商品参照すると、伝票の仕入先＝商品マスタの仕入先の商品を表示することができます。 商品を主に決まった仕入先から仕入れる場合に使用します。 ・F3キーまたは、ダブルクリックでその商品の登録画面が表示されます。 ※表示された商品登録画面で内容を変更しても、入力中の伝票に自動的に反映されません。反映したい場合は再度商品を指定しなおして下さい。 <p>・発注入力では単品管理する商品の指定はできません。</p>
品名	<p>発注する商品名を入力します。 商品コード選択時に商品マスタの商品名が初期表示されます。 表示後の訂正も可能です。 伝区が摘要の場合は任意文字列を入力します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品名は空白でも伝票登録可能です。 ・変更した場合は当伝票にのみ有効です。商品マスタは変更されません。
倉庫	<p>発注した商品を入荷する予定の倉庫を選択します。 伝票担当者の事業所に登録されている倉庫が初期表示されます。 直接倉庫コードを指定するか、SpaceまたはF4キーにて表示される倉庫参照画面から変更できます。 伝区が経費、摘要の場合は指定できません。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品の在庫数管理は全て倉庫別に行っています。 ・在庫管理が不要の商品は倉庫を指定できません。 ・在庫管理が必要な商品は倉庫を必ず指定しなければいけません。

項目名称	説明
明細納期	<p>納期を行ごとに年月日で入力します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明細納期には発注日以降の日付しか指定できません。 ・状況が「発注」の場合は必須入力です。
発注数量	<p>発注数量を入力します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数量の入力は必須ではありませんが、在庫管理する場合は数量を入力しなければ反映することができません。 ・数量の少数以下桁数は、運用設定にて修正可能です。
単位	<p>数量の単位を入力またはリストから選択します。 リストには単位マスタに登録されている内容が表示されます。 商品マスタの登録内容が初期表示されますが、変更できます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変更した場合は当伝票にのみ有効です。商品マスタは変更されません。
発注単価	<p>発注単価を入力します。伝区が摘要の場合は入力できません。 新規伝票では仕入先マスタの販売単価種類の設定に応じて、初期表示される単価が決定します。</p> <p>SpaceまたはF4キーにて単価情報画面が表示されます。 単価情報画面には商品マスタに登録されている単価と仕入先別商品別単価が表示されます。この一覧から単価を選択し直すこともできます。 仕入先マスタに設定されている単価掛率も表示されます。掛率は変更できます。 ただし、商品マスタの掛率要否が「不要」場合、掛率は表示されません。</p> <div data-bbox="354 1117 877 1471"> </div> <div data-bbox="911 1158 1339 1386"> <p>伝票機能で「仕入先別商品の最終仕入単価を使用する」をONにしている場合、仕入先別商品単価が表示されます。</p> <p>この画面から掛率を変更することもできます。</p> </div> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単価の少数以下桁数は、運用設定で変更できます。 ・伝票機能で「仕入先別商品の最終仕入単価を使用する」をONにしている場合、仕入先マスタの単価種類設定は無視され、常に最終仕入単価が表示されます。 <p>F3キーにて仕入単価履歴が表示されます。 初期表示では仕入先と商品が伝票と同じ発注、仕入を表示しますが条件を変更して再検索できます。</p> <div data-bbox="360 1769 1334 2103"> </div>

項目名称	説明
種別	<p>商品マスタに設定に関係なく「販売」が初期表示されます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択変更した場合は当伝票にのみ有効です。商品マスタは変更されません。 ・受注明細を指定した場合は受注明細の種別が初期表示されますが、仕入管理機能側ではレンタル・リースは取り扱いません。種別の指定にかかわらず販売品と同じように金額の計上、在庫の移動が行われます。
発注金額	<p>発注数量×単価の値が表示されます。 マイナスの入力も可能です。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数量や単価を入力せずに発注金額のみ手入力することもできます。
備考	明細行の備考として任意の文字列を入力できます。
マーク (ボタン)	マークをマウスでクリックし、チェック状態にすることで明細行にマーク(印)をつけて、明細表出力時に絞り込みができます。
税区分	発注明細の税区分をリストより選択します。 商品マスタの設定値が初期表示されます。

4) 明細情報(計行) 項目の説明

明細部の下に横並びに表示されている箇所を、計行と呼びます。
 計行では伝票時外税の得意先の外税額のみ手入力できます。
 その他入力できる項目はありません。明細部の情報を集計して、その結果を表示します。

※以下、下線(緑字)の項目は伝票機能にて、使用する、しないを選択できるものです。
 詳細は「伝票機能設定」マニュアルを参照してください。

項目名称	説明
金額計	伝票全体の発注金額合計が表示されます。
外税額	<p>伝票毎外税の伝票の場合、「外税額」と表示され、伝票全体の消費税額が計算され表示されます。表示されている消費税額を手入力で修正することも可能です。画面には下7桁まで表示されます。</p> <p>伝票毎内税の伝票の場合、「内税額」と表示され、伝票全体の消費税額が計算され表示されます。消費税額の訂正はできません。</p> <p>支払時外税の伝票の場合、この欄は表示されません。</p>
合計金額	<p>外税の伝票の場合、金額計+外税額が表示されます。</p> <p>内税の電報の場合、金額計と同額が表示されます。</p>

5) 発注伝票更新におけるその他注意事項

修正

- ・修正で伝票を開いた場合、どの項目も修正していないと伝票登録はできません。
- ・仕入先の使用区分を「仕入停止」「使用しない」に設定している場合は更新ロックがかかり、更新できません。

削除

- ・仕入先の使用区分を「仕入停止」「使用しない」に設定している場合は更新ロックがかかり、削除できません。